



図版1「日本の婚礼」(ティチング『日本風俗図説』9頁)



図版2「日本の婚礼の贈物」(ティチング『日本風俗図説』10頁)

口絵解説

イザーク・ティチング『日本風俗図説』パリ、1819年

Isaac Titsingh, *Cérémonies usitées au Japon pour les mariages et les funérailles*.

Paris: A. Nepveu, 1819.

同書は、出島オランダ商館長として1779年以降3度にわたって来日した知識人のティチングが日本の民間の婚礼と葬式について著わした日本研究書である。今回紹介する日文研所蔵本は、ティチングの死後にパリにおいて出版者オーキュスト・ネヴェウが1819年に出版したフランス語初版である。異国の慣習や風俗に興味を抱いていたネヴェウは、日本からの帰還後にパリに滞在していたティチングと親交があり、ティチングの日本研究の草稿や資料を彼の死後に入手し、同書を出版した。図版1には、婚礼に参加する主要な人物、すなわち新郎新婦、花嫁の両親、仲人とその妻、新郎の兄弟が描かれている。図版2には、仲人が剣を婚約者に届ける際の作法の様子および両家の間に交わされる衣装、現金、反物等の贈物が描かれている。これらの図版は『婚礼仕用罌粟袋』^{こんれい じよう けい しぶひ}という江戸期に出版された結婚手引書から転写されたものである。なお、同手引書にはもともと彩色が施されていなかったが、ティチングは日本滞在中に日本の絵師に依頼して手彩色を施してもらい、それを基として『日本風俗図説』の図版が彩色されている。同書は日文研貴重書データベースに収録されていて、オンラインで閲覧することができる。(解説:フレデリック・クレインス)